# 患者さまへ

## 「ペグフィルグラスチム※投与患者における投与デバイス選択理由の調査」

**※ペグフィルグラスチム**:（商品名ジーラスタ皮下注 3.6 mg®、ジーラスタ皮下注 3.6 mgボディポッド®、ペグフィルグラスチムBS皮下注 3.6 mg「ニプロ」®/顆粒球コロニー形成刺激因子製剤の一般名です）

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。
このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。
なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

| | |
|---|---|
| 1 研究の対象 | 札幌徳洲会病院において 2023 年 4 月～2024 年 11 月の間にペグフィルグラスチムを施行された患者さま |
| 2 研究目的・方法 | 同一薬剤の製剤選択理由は患者さまや介護者の方の状況によって様々であり、医療従事者が患者さまの生活や背景を考慮し薬剤選択に関与することは患者満足度の向上につながるものと考えられます。しかし、ペグフィルグラスチムの皮下注製剤と自動投与デバイスの選択理由を調査した報告はありません。そこで本研究ではペグフィルグラスチムの皮下注製剤と自動投与デバイスの選択理由を電子カルテより調査することを目的としました。<br>研究の期間:施設院長許可後（2024 年 6 月予定）～2027 年 3 月 |
| 3 情報の利用拒否 | 情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。<br>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。 |
| 4 研究に用いる情報の種類 | 情報:性別、年齢、住所、来院方法、職業、付き添いの有無、既往歴、臨床病期、化学療法治療歴、癌種、PS（Performance Status）、手術歴、治療レジメン、デバイス選択理由など |
| 5 お問い合わせ先 | 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。<br><br>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:<br>研究責任者　前田健太、札幌徳洲会病院・薬剤部、副薬局長<br>住所:札幌市厚別区大谷地東 1 丁目 1-1<br>連絡先:011-890-1110 |

2025 年 6 月 1 日作成（第 1.3 版）